

自転車に対する被害軽減ブレーキの評価に係る調査研究について

《背景》

- 我が国の交通事故死者数のうち、半数超えが歩行者と自転車乗員が占めている。これまで、車両と衝突する歩行者の被害を軽減するための評価を行ってきたところであるが、自転車による事故についても、交通手段別の交通事故死者数としては 15.6%を占めることから、車両と自転車の衝突を未然に防止する対策を講じることが重要と考える。
- 対歩行者被害軽減ブレーキ同様に、対自転車被害軽減ブレーキについても死者数削減のために高い効果があると見込めることから、当該装置（技術）の技術開発と普及促進が急務である。
- 自動車アセスメントロードマップにおいて導入を検討しているところ。

《導入スケジュール案》

- 2018 年度
 - ・ Euro NCAP 試験条件の確認
 - ・ 日本の事故実態調査
- 2019 年度
 - ・ 試験・評価法の策定
- 2020 年度
 - ・ 試験条件等の確認
- 2021 年度
 - ・ 評価開始